

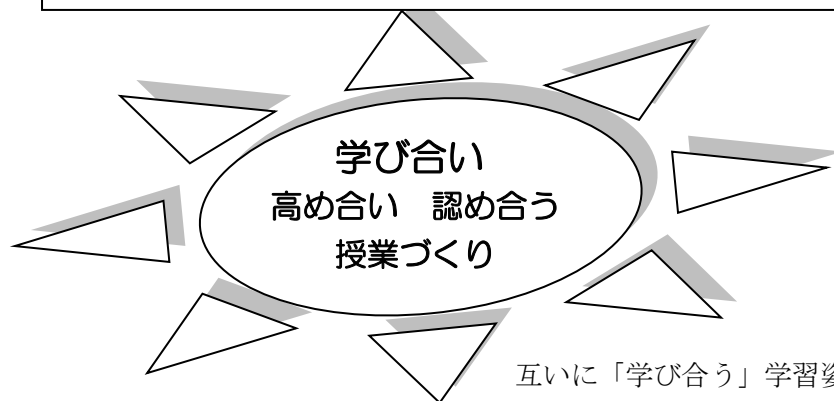
殿山第二小だより

令和 5年 2月3日 第 30号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044

発行責任者 校長 山本 容子



今日は節分です。季節は“春”を迎えます。学校では、各学年の学習もまとめの学習の時期となってきます。

さて、左記に挙げています今回のテーマ『学び合い 高め合い 認め合う 授業づくり』を私たち教職員は、意識しながら日々の授業に取り組んでいるところです。

互いに「学び合う」学習姿勢を身につけることで、子どもたち一人ひとりの知的好奇心が高まってきます。

そこで、学習に主体的に取り組む学級集団が形成されてきたと思われる6年生の「社会科授業」についてお伝えしたいと思います。

*単元名は、「日本とつながりのある国」

*本時の目標は、「アメリカの人々の生活、文化や習慣、国土の特徴、日本とのつながり、異なる文化や習慣をもつ人々と互いに協調することの大切さを理解することができる。」

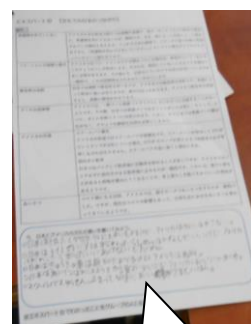
チャイムと同時に5時間目の授業が始まりました。

本時の学習に入っていく前に、既習の学習内容を想起する先生からの問いかけ「これまで学習してきた日本とつながりの深い国は？」が提示されると、さっと手が挙がりました。そして、「今日は、アメリカと日本とのつながりについて考えてみましょう。」「まず、どんなつながりがありますか。」と問いかけが続くと、次から次へと、「野球」「貿易」「バスケットボール」(折しも、前日に、アメリカプロバスケットボールNBAのレーカーズに、八村 塁選手がトレード移籍を果たしたと報道がありました。)「ハンバーガー」「旅行」「日米関係」「条約」などなど、子どもたちから発言がありました。わずか、5分間の時間ですが、様々な発言が、自身のエピソードも交えながら発せられることで、教室は“やる気”の熱気に包まれていきました。

いよいよ、メインテーマに迫る時間です。学習課題 A経済 B文化 C観光 と子どもたちも3グループに分かれ、まず、一人で資料を読み取り、わかったこと、気づいたこと、考えたことなどを資料に書き込みます。そして、3つの班に分かれて、意見交流し、新たな気づきをまたプリントに書き込んでいきます。大事なことは、自分の学習課題で理解したことを自分の言葉で伝えるということです。そして、友だちの意見にも目を向け、自分の考えをより深めていくようにすることです。

さすが、6年生です。子どもたちは、学習課題の資料を短時間で目を通し、気づいたことを端的にワークシートに書き込み、友だちに伝えるときは、言葉を捕捉し、資料を指し示しながら、相手に伝わる表現方法を身につけてきています。

授業のまとめは、自分のワークシートを写真におさめ、ロイロノートで共有の提出ボックスに提出します。友だちのまとめをロイロノートから見たり、発表をきいたりして、自分自身で学習のまとめをします。子どもたちは、自らの“学び方”を確かなものとしてきたようです。頼もしさを感じました。



資料から読み取ったことを、箇条書きで、枠いっぱい書き込んでいます。

